広報 かつやま

5月号 No.678

CONTENTS Web

東日本大震災支援について
平成23年度区長紹介
エコ環境都市を目指して

平成23年5月12日発行

歴史の散歩道（127）

三峰城と平泉寺

『太平記』に出てくる三峰城は、福井市一乗谷と鯖江市河和田との間の「城山」（海抜四〇四・五m）である。

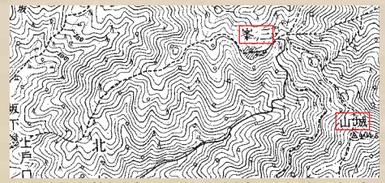
建武三年（延元元年・一三三六）十月、新田義貞は金ケ崎城（敦賀市）に立て籠もったが、翌年三月、杣山城（南越前町）に移った。この年、平泉寺は三峰城に入り、脇屋義助を迎えた。このことを『太平記』は「この時までは、平泉寺の衆徒等、みな二なき将軍方にてありけるが、如何思ひけん、過半引き別れて宮方に与力し、三峰に打ち出でて城を構へて、敵を待つところに伊自良次郎左衛門尉これに与して、三百余騎にて馳せ加はる」と記している。「将軍方」は足利尊氏の北朝、「宮方」は後醍醐天皇の南朝を示す。「過半引き別れて宮方に与力し」という文言は、平泉寺の行動を読み解く上で重要である。つまり平泉寺衆徒の過半が、引き別れて後醍醐天皇方の南朝につくことを決意し、三峰城に立て籠もった。さらに平泉寺に与力したのが大野の伊自良次郎左衛門で、上味見の中手に城館を建て、道元禅師とともに来日した中国僧寂円が、宝慶寺を開山するのに助力した。

平泉寺は三峰城に脇屋義助を迎えて援軍し、新田義貞が越前を制圧するのに助力した。

三峰城の北西八〇〇mほどの所に、中世三峰寺という山寺があった。この寺の墓地跡からは六〇基あまりの五輪塔などの墓塔が発掘されたが、この寺は平泉寺の末寺であった。この地に江戸期子安観音堂があったが、この本尊の聖観音菩薩立像（平安後期作）は、三峰寺ゆかりのものである。この堂は明治以後は白山神社となり、また三峰村の山崎久助家は由緒ある家柄として、昭和十二年（一九三七）までこの地で生活した。（参考文献「新編日本古典文学全集55　太平記②」、三峰城跡保存会「三峰の歴史、伝説・浪漫」）

文化財保護委員　佐野光臣

三峰城跡に建つ「脇屋義助卿守戦之地」と銘のある石碑



三峰城跡（城山）と三峰の村（昭和5年則図）

人口の動き

	3月末現在	自然動態			社会動態			4月末現在	月間増減
		出生	死亡	計	転入	転出	計		
男	12,478人	3	17	−14	21	−19	2	12,466人	−12人
女	13,665人	10	15	− 5	22	−17	5	13,665人	−0人
合　計	26,143人	13	32	−19	43	−36	7	26,131人	−12人
世帯数	8,223世帯							8,223世帯	0世帯

交通事故発生状況

※高齢者＝65歳以上

件数内訳	平成23年4月末	前年比
総件数	175件	+5件
人身事故（うち高齢者）	17件（8）	−5件（+2）
死　者（うち高齢者）	2人（2）	+1人（+1）
傷　者	20人	−3人
物損事故	158件	+10件

5月の納税

軽自動車税▶1期
納 期 限▶5月31日（火）
口座振替▶5月26日（木）

編集後記

東日本大震災から2か月が経過しました。勝山市が独自に岩手県陸前高田市で支援してきた福祉避難所の運営が、5月1日から医療法人財団に引き継がれましたが、今後も復興のサポートを続けていきます。

環境保全推進コーディネーターに前園さんが就任されました。写真の腕前もプロ級です。今後もコラムや写真を定期的にご紹介していく予定です。詳しくは本文記事をお読みください。

広告　広告のお申し込みは秘書・広報課まで

発行/福井県勝山市　編集/総務部秘書・広報課
〒911−8501 勝山市元町1丁目1−1　TEL0779−88−1114　FAX0779−88−0222
〈URLアドレス〉Web http://www.city.katsuyama.fukui.jp/　〈Eメールアドレス〉kouhou@city.katsuyama.lg.jp

この広報紙は再生紙を使用しております　VEGETABLE OIL INK